



“命”をつなぐ “生きる”を支える

フードバンクぎふ

【振込口座】

名義 特定非営利活動法人フードバンクぎふ

◇ゆうちょ銀行【店名】二四八

【口座番号】普通3578654

◇大垣共立銀行【本店】店番001

【口座番号】普通1810383

2024年12月7日 No.9

発行：フードバンクぎふ

連絡先：大垣市荒尾町1490-3

☎ 0584-92-1400

📧 foodbankgifu.jp@gmail.com



フードバンクも米不足 ⇒ 政府備蓄米の無償交付決定

今年の夏は全国的な米の品薄状態。当然、フードバンクも寄付していただけたお米が減り、米不足になりました。5キロに小分けしていたのを2キロに減らして対応。家族の多い家庭にとっては2キロではすぐになくなってしまふと悲鳴が聞こえる状態でした。

9月にNHKの取材を受け放送していただけたおかげで、少しずつ寄付が増えて持ち直してきました。また、11月に入り、白鳥ファームさんからも、新米700kgを寄付いただきました。

そして、事務局の方でも、学校給食用等政府備蓄米無償交付事業に申請し交付が決定しました。これは子育て家庭にしか配布できませんが非常に助かります。

お米は食生活の基本。今後もぜひとも皆様のご協力をお願いします。



▲NHKでテレビ放送

梨とトマトの寄付が始まりました

岐阜県農産物流通課の仲介で今シーズンを通して、毎週水曜日の個別配布にあわせて梨を提供いただけることになったのは、(株)DIBさん。カメムシに果汁を吸われて凸凹になっていたり、芯を食べる芯食い虫にやられて中心が黒く変色しているものもありますが、取り除けばまったく問題なく、甘くて美味しいです。



地元の野菜や果物で、地域の暮らし、食卓が少しでも温かく、豊かになるといいと思います。

本巣市のポットファクトリーさんから、トマトの寄付をいただけることになりました。どうしても赤くなり始める最初の頃は、少し形がよくない物や、ヒビが入る物ができてしまうということで、味はいいのにもったいないので生かしてもらえないかという問合せでした。

野菜の値段も高騰している今、配った方にはとても喜んでいただきました。今後も、タイミングが合えばいただけるかも。



記念講演 & 2024年度総会

2024年度の通常総会を、6月1日(土)に開催しました。

食品の取扱量が前年度の59tから、72tへと大きく増加し、配布を希望する家庭も200世帯以上増加と、規模が拡大するにつれ、事務局の仕事も大変になり、事務局体制の充実とサポーターの確保が喫緊の課題であることが確認されました。また、前赤星理事長の所有であった現在の事務所の維持も大きな問題です。今年度、すでに半年たってしまいましたが、いい方向に進むよう尽力する所存です。

また、前年度は岐阜県の孤独孤立対策の補助金で行っていた“はじめの一步”事業を、2024年度はWAMの助成でできることになったことを、サポーターの皆さんとも共有し、事業の実施に向けて共通理解を深めることができました。



総会に先立ち、岐阜新聞記者の山田俊介氏に「ホームレスはどこへ行った～岐阜の現場から～」と題して講演をいただきました。所謂“売れる記事”になりにくい内容の記事だが、ぜひ知って欲しい内容なので連載で出していこうとする思いを聞くことができました。



▲山田俊介氏

岐阜別院チームの動きが活発に

岐阜市の拠点として岐阜別院さんをお借りして活動し始めたのは2022年度ですが、皆様のお声掛けのおかげで、サポーターとして協力いただける方も増えて、岐阜市の支援が活発に動くようになってきました。

冷凍庫を置かせていただくことができ、また、今年度のひとり親家庭等への食品配布のための食品仕分け作業スペースをお借りすることもでき、スムーズな配布につながっています。



▲別院の和室で仕分け作業
畳に傷がつかないように...

2024年度の助成事業

2024年度は、国や県の助成金を活用して以下の事業に取り組んでいます。

令和5年度(補正予算)社会福祉振興助成事業



「生活困窮・ひきこもりから、社会参加・就労への初めの一步事業」

はじめの一步!

少しでもお仕事(お手伝い)してみませんか?

6月～10月の5か月間で、本部、キッズスクエア瑞穂、たま農園、各務原、海津などで、のべ150人以上の方が活動に参加されました。同時に多くのサポーターさんにも協力いただき、「はじめの一步」だったり、「さらにもう一步」の活動が続けられています。

本部では、今までのように、精米作業、お米や野菜の袋づめ作業、在庫の整理、重い物の運搬、食品の仕分け作業などに参加してもらっています。関ヶ原では、ブルーベリー農園での収穫作業。キッズスクエア瑞穂では、郵送作業や食品の仕分け作業などを手伝ってもらいました。

一緒に作業をしていると、「体調どう?」「家族はみんな元気?」「仕事行けそう?」など少しずつ話ができるようになり、「また次も来ます!」と言ってもらえるようになっていきます。作業の場が“居場所”になってくれたらいいなと思っています。

※昨年度は、岐阜県の孤独孤立対策官民連携事業で行っていた活動を、今年度はWAM(独立行政法人福祉医療機構)の助成金で行っています。



▲お米の袋づめ作業

令和6年度ひとり親等子どもの食事等支援事業

子育て家庭へ、食料品・日用品等を購入して配布できる助成金です。

今年度は、中間支援団体のひとつである「NPO法人POPOLO」に申請し、助成が決定しました。9月～12月の間に支援ボックスの形で5回配布する予定です。

大量に購入した食品を50箱に仕分けして、各子育て世帯に配布します。各地区のサポーターさんには、地区ごとに購入&配布していただいています。

※瑞穂、岐阜&笠松は、別団体で申請して実施しています。



▲食品の仕分け作業

岐阜県女性のつながりサポート支援事業

女性の相談支援、居場所作り

(事務所での居場所・協立大学近隣での食料支援)

食品をお渡ししながらおしゃべりをする中で、悩み事を聞いたり、他の支援につないだりする事業です。生理用品をお渡しすることもできます。

コロナ以降、特に女性の自殺率が上がり、悩みを相談できる人が近くにいないという悩みをもつ女性が増えています。その改善の一助となれば。

フードバンク活動を継続するための3つのお願い!



①ボランティア募集

食品の引取り・配布・精米・袋詰め・箱詰め、入荷データの入力・在庫管理などなど、日々の細かい活動を、できるだけ少くとも手伝っていただける方を募集しています!



②寄付金・賛助会員募集

冷蔵庫などの電気代、食品の引取りや配布のための交通費、食品を送るための送料など、支援が増えれば増えるほど、経費が膨らんでいきます。個人の皆様、企業の皆様、ぜひ活動への寄付をお願いします。



③食品の寄付募集

困っている家庭に配布できる食品の寄付をお願いします。

ボランティア協力、寄付や食品の提供など、多くの皆様に支えられています。本当にありがとうございます。ごぞいます。

フードバンクぎふに、SDGsについて中学校で授業をしてほしいと依頼が来ました。中学1年生210人に、昨年大野のフードバンクフェスタで使ったミニクイズ本を使いながら、フードロスやフードドライブなどについて楽しく伝えた後、写真を使いながら、フードバンクぎふの活動を紹介してきました。下調べをしてきたという生徒さんから「寄付が少ない時はどうしているんですか?」という質問を受け、「そう!そういう時が困るんです。そんな時はメディアを使って寄付の呼びかけをしています。皆さんが周りの人にこの活動を伝えてくれるとうれしいです。」と話してきました。

「飢餓や貧困をなくし、みんなが健康に生活できる社会にするために、自分にできる事」について考えるきっかけになったらいいなあ…。そして、寄付がきたらいいなあ…。 S